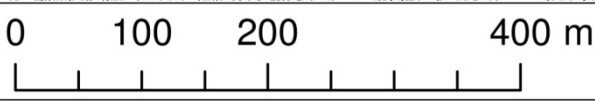




この地図は、農業用ため池の「滝谷池（滝池）」「砂池」「尾上尻池（尻池）」が、地震などによって大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊し、「滝谷池（滝池）」「砂池」「尾上尻池（尻池）」の貯水量の水が流れ出て、洪水が発生した場合を想定し、そのはん濫水が到達する可能性のある区域と、予想される浸水の深さを表示したものです。

実際のはん濫水の影響のある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もありますが、地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げる」ことが何よりも大切です。

地域の皆さんでこの地図をご活用いただき、地震時の安全確保に努めてください。



ため池ハザードマップ

滝谷池（滝池）・砂池・尾上尻池（尻池）

凡例

	指定避難所・緊急指定避難場所		到達時間
	その他の避難施設		歩行困難区域
	消防署・消防団施設		0.5m未満
	交番・駐在所		0.5～1.0m
	主な病院		1.0～2.0m
	地域の方が利用される避難場所		2.0～3.0m
	想定した破堤地点		3.0～4.0m
			4.0～5.0m

地震だ！ まず身の安全

●揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。

●丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れが納まるまで様子を見る。

[高層階(概ね10階以上)での注意点]

●高層階では、揺れが数分続くことがある。

●大きくゆっくりとした揺れにより、家具が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

地震直後の行動

<h4>落ちついて 火の元確認 初期消火</h4> <p>●火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。</p> <p>●出火した時は、落ち着いて消火する。</p>	<h4>あわてた行動 けがのもと</h4> <p>●屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。</p> <p>●瓦・窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。</p>	<h4>窓や戸を開け 出口を確保</h4> <p>●揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。</p>	<h4>門や塀には 近寄らない</h4> <p>●屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。</p>
--	---	---	---

地震後の行動

<h4>火災や津波 確かな避難</h4> <p>●地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。</p> <p>●沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。</p>	<h4>正しい情報 確かな行動</h4> <p>●ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。</p>	<h4>確かめ合おう 我が家の安全隣の安否</h4> <p>●我が家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。</p>	<h4>協力しあって 救出・救護</h4> <p>●倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。</p>	<h4>避難の前に 安全確認 電気・ガス</h4> <p>●避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。</p>
---	--	---	--	---



地震 その時10のポイント

(東京消防庁作成)